

2023/10/23_確定版R1

H I 盃選手権試合 100周年記念大会



復活第72回（通算92回）

H I 盃選手権試合 全三菱庭球大会

2023年10月27日（金）・28日（土）・29日（日）

MUFGパーク

明治安田生命 グリーンランドコート

東京海上日動 多摩コート

三菱庭球同好会

目 次

ご挨拶、祝辞	1
HI盃選手権試合と全三菱庭球大会について	2
HI盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項	3
諸注意事項	7
大会次第	8
HI盃選手権試合、女子シングルストーナメント組合せ	9
男子ダブルス、女子ダブルストーナメント組合せ	10
140オトーナメント組合せ	11
120オトーナメント組合せ	12
東西対抗試合組合せ	13
コート時間割	14
大会会場・懇親会会場案内図	17
2022年度 第71回大会 優勝者	21
HI盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表	22
HI盃選手権試合 100周年記念特集 三菱庭球の歩み(年表).....	26

開会式への参加のお願い

第3日(10/29)出場予定の選手は、8:30からMUFG
パークにて開会式を行いますので、必ずご参集ください。

最終日のWEB配信

昨年と同様に最終日の一部試合をWEBにて配信いたしますので是非ご観戦ください。
URL等の詳細は別途三菱庭球同好会HPにてご案内いたします。

100周年記念展示のご紹介

「岩崎彦彌太様メモリアルコーナー」をクラブハウス2Fに
設けていますので是非ご覧ください。

ご挨拶



三菱庭球同好会
会長 大宮 英明

1923 (大正 12) 年 7 月 29, 30 日に巣鴨の染井コートで、第一回 H I ロンドンカップ戦 (H I 盃) が行われてから 100 周年を迎えました。第一回大会は H I 盃 8 名、関東関西戦 30 名で繰り広げられましたが、100 年後の現在までに、男子複、女子単複、120 才、140 才ベテラン複と種目が充実し、総勢約 270 名が参加する大会にまで成長してまいりました。

昨年は、コロナ禍の制限で東西対抗試合の中止、無観客試合、懇親会の取止めとなりましたが、今年はコロナ以前の姿で行います。また、時を同じくして銀行コートが M U F G パークとして生まれ変わり、H I 盃の聖地で開催いたします。誠に慶賀に堪えません。

H I 盃の第二世紀スタートにあたり、Horizontal Integration (三菱グループの連携) と処事公明 (フェアプレイ) という大会精神の下で伝統を継承し、ますます素晴らしい大会になることを期待します。

結びに、大会関係の皆様と幹事の重工、化工機、製鋼及び会場を提供いただいた銀行、海上、生命各社に厚く御礼申し上げます。

祝辞 HI 盃 100 周年を迎えて



岩崎 俊吉

H I 盃選手権試合 100 周年、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

母 美智子から「寛彌が生前、この H I 盃に特別の思いがあり大切にしていた。」と話してくれたことがあります。平成 26 年に女子のシングルスが加わり、母からシャーレを寄贈させていただいた時からこの大会に接しはじめましたが、父の言葉の意味を改めて実感している次第です。

復活当時を知る父は、復活 50 年誌で、“諸先輩が全身全霊を傾けて復活させたことに思いを馳せて、この大会が後日どのように想起されるのか？懐かしく振り返ることができれば有難い”と記しております。

100 年におよぶ伝統を築きあげた三菱テニスプレイヤーの皆様から敬意を表します。そして今大会の実現にご尽力いただいた大会委員の方々、選手・三菱庭球同好会の皆様、大会の運営と各施設の運営に携わっていただいた皆様に感謝いたします。

第二世紀もこの大会がますます発展されんことを祈念いたします。

HI盃選手権試合と全三菱庭球大会について

HI盃選手権試合の歴史は、1922年(大正11年)にまで遡ります。

この年の10月、ロンドンにご外遊中の岩崎彦禰太様から三菱倶楽部庭球部に銀製カップが寄贈され、そのイニシャルをいただき、「H.I.ロンドンカップ」と名付けられました。翌1923年(大正12年)、このHI盃を争って第1回全三菱男子シングルス試合(HI盃選手権試合)が開催されました。その後、毎年定例の行事として挙行され、今年で記念すべき100回を迎えます。

これに先立ち、関東関西戦が1916年(大正5年)から開催されており、本大会は今年で107年目を迎えます。1952年(昭和27年)の復活第1回HI盃選手権試合／東西対抗戦(戦争の為1943年(昭和18年)から中断)に際しては、新たに「100オトーナメント(45才以上ダブルス)」(以降105才、110才及び115才を経て現在では「120オトーナメント」)が加えられました。1972年(昭和47年)には、岩崎操子様よりカップが寄贈され、「女子ダブルス選手権試合」が設けられました。1983年(昭和58年)には、岩崎寛禰様よりカップが寄贈され、65才以上のペアによる「130オトーナメント」(2013年(平成25年)から「140オトーナメント」に変更)が設けられました。2006年(平成18年)には、三菱庭球同好会名で「男子ダブルス選手権試合」が設けられました。そして、2014年(平成26年)に、岩崎美智子様より優勝盃が寄贈され、「女子シングルス選手権試合」が設けられ、男女とも同じ種目の整備が完了しました。

これらのHI盃選手権試合を中心とした各種目庭球試合の総称が「全三菱庭球大会」であり、現在では、三菱企業グループ26社が参加し、各地区の予選も含め、全国的なレベルでますます盛んに繰り広げられています。



第1回HI盃(大正12年東京・染井コート)

HI盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項

幹事会社 三菱重工業株式会社
三菱化工機株式会社
三菱製鋼株式会社

1. 大会日程

日 程	種 目 等	会 場	集 合 時 間 等
第 1 日 10月27日(金)	[140才・120才ダブルス] ブロック別リーグ戦	海上 多摩コート (120才ダブルス) 生命 グリーンランド コート (140才ダブルス)	試合開始15分前
第 2 日 10月28日(土)	[HI盃・女子シングルス] 1回戦 [男子ダブルス] ブロック別リーグ戦 [女子ダブルス] ブロック別リーグ戦 [140才・120才ダブルス] 決勝トーナメント1回戦・2回戦	MUFGパーク	試合開始30分前
第 3 日 10月29日(日)	[HI盃・女子シングルス] 準決勝・決勝 [男子ダブルス] 決勝トーナメント1回戦・準決勝・決勝 [女子ダブルス] 決勝トーナメント準決勝・決勝 [140才・120才ダブルス] 準決勝・決勝 [東西対抗試合]・[特別試合]	MUFGパーク	試合開始30分前
	懇親式	吉祥寺エクセル ホテル東急	17:30開始

※コート割、開始時間、会場案内はP14～P20をご参照ください。

2. 役員

委員長： 三菱庭球同好会 会長 大宮 英明 (三菱重工業)

副委員長： 宮 永 俊 一 (三菱重工業)

田 中 利 一 (三菱化工機)

山 口 淳 (三菱製鋼)

同好会相談役： 畔 柳 信 雄 (三菱UFJ銀行)

審判長： 武 田 彰 (三菱商事)

副審判長： 牧 村 祐 一 (三菱重工業)

HI盃委員： 明 樂 裕 (東京海上日動) 松 岡 信 幸 (三菱電機)

広 瀬 正 典 (三菱ケミカルグループ) 乙 川 勝 幸 (三菱マテリアル)

野 村 利 明 (三菱自動車工業) 南 秀 明 (三菱UFJ銀行)

田 中 仁 (三菱重工業) 井 手 信 彦 (明治安田生命)

田 村 太 郎 (三菱商事)

HI盃地区委員： [関東] 奥 田 隆 裕 (三菱UFJ銀行) [関西] 田 中 顕 一 郎 (三菱電機)

[中京] 山 脇 一 生 (三菱重工業) [九州] 林 隆 太 郎 (三菱重工業)

3. 参加会社 (26社)

AGC(株)	ENEOSホールディングス(株)	東京海上日動火災保険(株)
(株)ニコン	日本郵船(株)	(株)ピーエス三菱
三菱化工機(株)	三菱ガス化学(株)	三菱ケミカルグループ(株)
三菱地所(株)	三菱自動車工業(株)	三菱重工業(株)
三菱商事(株)	三菱伸銅(株)	三菱製鋼(株)
三菱製紙(株)	三菱倉庫(株)	(株)三菱総合研究所
三菱電機(株)	三菱電線工業(株)	三菱ふそうトラック・バス(株)
三菱マテリアル(株)	(株)三菱UFJ銀行	三菱UFJ証券ホールディングス(株)
三菱UFJ信託銀行(株)	明治安田生命保険(相)	(50音順)

4. 試合方法

〔使用ボール:ダンロップフォート〕

〔コートサーフェイス:HI盃…クレートコート、その他種目…オムニコート〕

種目	資格等	試合形式
(1)HI盃 (男子シングルス トーナメント)	前回優勝者、 地区代表(関東3、関西2、中京1、九州1)	ベストオブ3タイブレーク セットマッチ
(2)女子シングルス トーナメント	前回優勝者、 地区代表(関東4、関西2、九州1)	同上
(3)男子ダブルス	前回優勝者、 地区代表(関東8、関西9、中京4、九州2)	予選～決勝T準決勝 8ゲームズプロセットマッチ 決勝 2タイブレークセット10ポイント マッチタイブレーク方式
(4)女子ダブルス	前回優勝者、 地区代表(関東4、関西2、中京1)	予選 8ゲームズプロセットマッチ 決勝トーナメント 2タイブレークセット10ポイント マッチタイブレーク方式
(5)140才トーナメント	本年、男子満68才・女子満58才以上で 合計140才(※女子1人につき10才減ず る)以上のペアによるブロック別リーグ 予選、決勝トーナメント	1タイブレークセットマッチ ※予選に限りセミアドバンテー ジ方式、ミックス同士の対戦に おいては、ディサイディングポ イントはサーバーと同性のプレー ヤーがレシーブする。レシーバ ーチームはディサイディングポ イントのとき、レシーブする隊 形を変えてはいけない。
(6)120才トーナメント	本年、男子満58才・女子満48才以上で 合計120才(※女子1人につき10才減ず る)以上のペアによるブロック別リーグ 予選、決勝トーナメント	同上
(7)東西対抗試合	東軍(関東以東)・西軍(中京以西) 男子各10組、女子各3組による対抗戦	2タイブレークセット 10ポイントマッチタイブレーク 方式
(8)特別試合	HI盃選手権出場選手および女子シングルス 出場選手によるダブルス	2タイブレークセットマッチ

5. ダブルスブロック内順位決定方法

〔男子ダブルス〕

- ① 各ブロック上位1組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
 - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数
 - ※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0(不戦敗は0-8)で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。
(例:A対Bの試合で、Aから5-7の時点でBが途中棄権した場合、Aが9-7で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

〔女子ダブルス〕

- ① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
その他の点については上記男子ダブルスの②～⑤項と同様。

〔120オダブルス〕

- ① 3組で構成されるブロックは上位2位まで、4組で構成されるブロックは上位3位までが決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
 - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数
 - ※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は6-0(不戦敗は0-6)で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。
(例:A対Bの試合で、Aから4-5の時点でBが途中棄権した場合、Aが7-5で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

〔140オダブルス〕

- ① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
その他の点については上記120オダブルスの②～⑤項と同様。

6. その他特記事項

140オ・120オダブルスについては、ブロック別リーグ予選開始前(10/26(木)17:00まで)に限り、以下の担当者へ連絡することによりペア編成の変更を認めます。
ただし、変更後のペアは各種目の出場資格を満たしていることが必要であり、また、選手変更による出場種目の変更は出来ません。

【担当者】

- *120オトーナメント … OBOG世話人会 柏木(090-4757-0777)、阿部(080-5048-2434)
- *140オトーナメント … OBOG世話人会 田畑(090-7990-7809)、茂木(090-2481-6076)

諸 注 意 事 項

1. コートへのアクセス、宿舎等

- (1) 各コートへの交通手段と連絡先は、P17～20をご参照ください。
- (2) 第1日・2日は専用バスを運行いたしませんので、各自お越してください。
- (3) 第3日(MUFGパーク)は専用バスを運行しますので、ご利用ください。
- (4) 会場への交通・宿舎などについては、各自にてお手配ください。
- (5) MUFGパークへの自家用車でのご来場は厳禁です。海上コート・生命コートは駐車場を利用できます。

2. 更 衣 室

各コートとも、更衣室のロッカーはご利用ができませんのでお荷物は各自で管理してください。

3. 試 合 進 行 等

試合進行はコート時間割に従って行ないますが、変更する場合がありますのであらかじめオーダーオブプレーにてご確認ください。近隣対策上、試合前の選手呼び出し(場内アナウンス)はいたしませんのでご注意ください。なお、個人のご都合による時間割の変更は受け付けいたしません。

- (1) 練習時間は試合進行上、HI 盃、女子シングルスは5分以内、その他は3分以内といたしますので厳守願います。

4. 審 判

- (1) HI 盃、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、140才ダブルス、120才ダブルスの決勝は、ソロ・チェア・アンパイアがつきますが、その他の試合はセルフジャッジですのでご協力ください。
- (2) 試合結果は勝者がスコアカードに記入の上、ボールと一緒に大会本部まで届けてください。

5. 昼 食

- (1) 全日とも昼食の準備はありませんので、各自にてご手配ください。
- (2) ゴミは各自お持ち帰りください。

6. WO(Walk Over)

- (1) 所定の時間までに試合前受付がない場合は、原則棄権となります。
- (2) やむを得ずWOの場合は、速やかに自社の連絡員経由でご連絡ください。

7. 参 加 費

140才・120才ダブルス参加者は、関東地区5,000円、関東以外3,000円となります。

その他種目の参加者は関東地区4,000円、関東以外は1,000円となりますので、それぞれ各社で取りまとめてください。後日徴収いたします。

8. 雨天時の対応

- (1) 最新情報は、同好会ホームページに掲載いたしますので、各自でご確認ください。
- (2) 10月29日(日)が雨天で試合中止となった場合は、懇親会のみ16:00から開催しますので、吉祥寺エクセルホテル東急にご集合ください。

大会次第 10月29日(日)

1. 開会式(MUFGパーク) (8:30)

(1) 挨拶 大宮大会委員長

(2) 優勝盃・優勝旗返還 大宮大会委員長

(3) 諸注意 武田審判長

2. 試合開始(コート時間割をご参照) (9:00)

3. 試合終了 (16:00)

4. 閉会式及び懇親会(吉祥寺エクセルホテル東急 8階アンバサダールーム) (17:30)

(1) 開会挨拶 大宮大会委員長

(2) 乾杯 山口大会副委員長

(3) 表彰および優勝者挨拶

① HI盃優勝者

② 女子シングルス優勝者

③ 男子ダブルス優勝者

④ 女子ダブルス優勝者

⑤ 140オダブルス優勝者

⑥ 120オダブルス優勝者

⑦ 東西対抗試合勝者

(4) HI盃100周年を祝う 宮永大会副委員長

(5) 「三菱庭球の歩み」ビデオ鑑賞

(6) 閉会の辞 田中大会副委員長

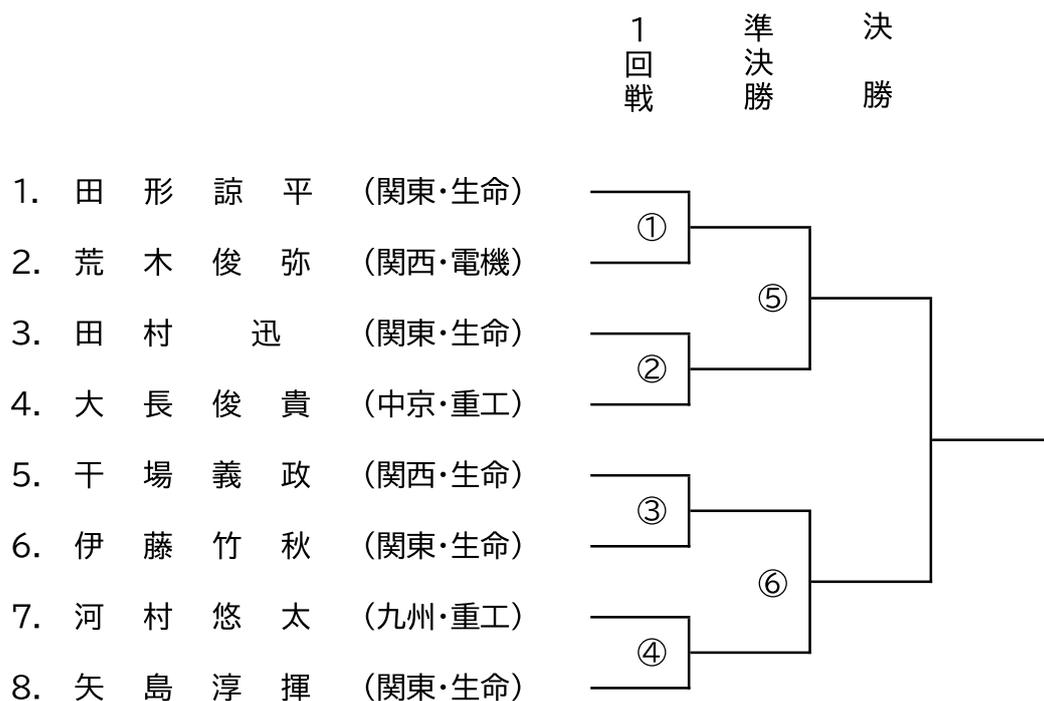
(7) 万才三唱 牧村副審判長

5. 閉会(解散) (19:00)

6. 記念撮影

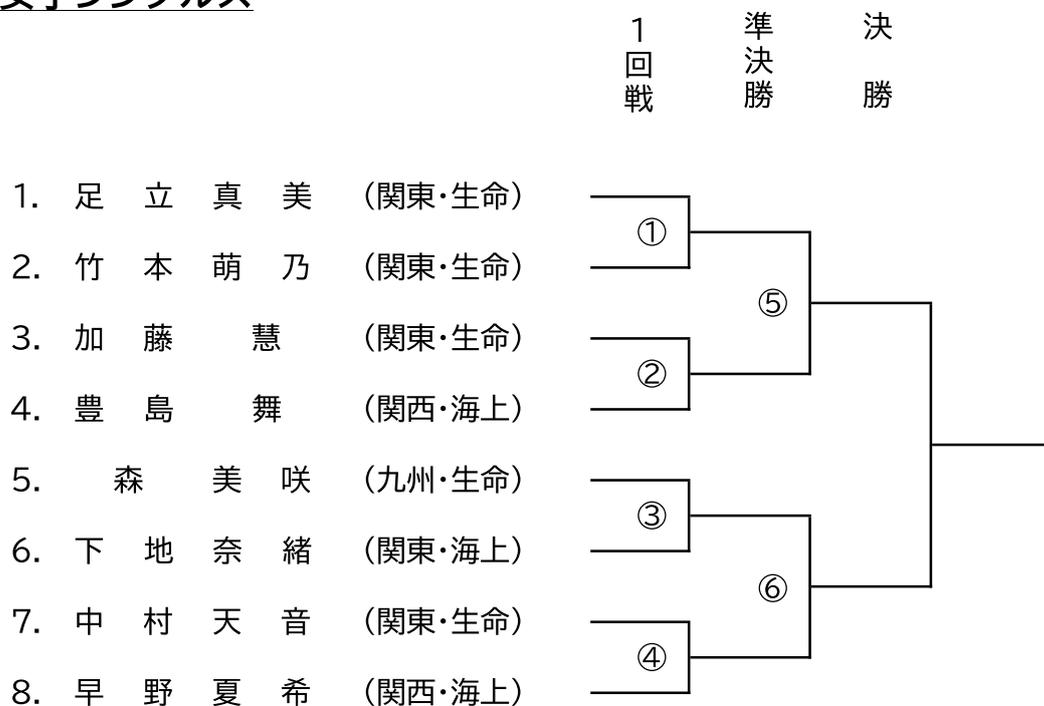
懇親会終了後、HI盃、女子シングルスの出場者、男子ダブルス、女子ダブルス、140オダブルス、120オダブルスの優勝・準優勝者、東西対抗試合主将および大会役員は記念撮影を行いません。

HI盃選手権試合(男子シングルス)



1922年創設
岩崎彦彌太氏寄贈

女子シングルス



2014年創設
岩崎美智子氏寄贈
(寛彌氏ご令室)

男子ダブルス

ブロック別リーグ戦

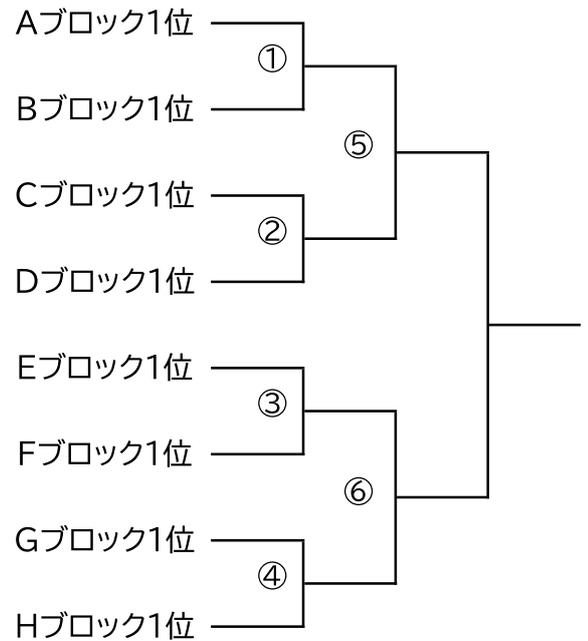
Aブロック	1	浦上・井上	(関東・海上)
	2	服部・齋藤	(九州・電機)
	3	白木・保坂	(関西・電機)
Bブロック	1	有松・加藤	(関東・マテ)
	2	細江・二村	(中京・生命)
	3	矢野・坂本	(関西・電機)
Cブロック	1	大谷・豊田	(関西・ケミカル)
	2	高坂・遠山	(中京・自動車)
	3	橋本・佐藤	(関東・銀行)
Dブロック	1	松本・福岡	(関西・ガス化)
	2	野田・徳本	(関東・生命)
	3	星木・菅谷	(関東・海上)
Eブロック	1	鈴木・西	(関東・マテ)
	2	光嶋・原	(関西・重工)
	3	瀧沢・小山	(関西・電機)
Fブロック	1	木下・佐藤	(関西・重工)
	2	安上・名越	(関東・海上)
	3	田島・林	(九州・重工)
Gブロック	1	天清・香山	(関西・電機)
	2	栗山・古田	(中京・マテ)
	3	山高一・奥村	(関東・ガス化)
Hブロック	1	山本・松田	(中京・重工)
	2	齋藤・平田	(関東・重工)
	3	吉田・佐川	(関西・マテ)



決勝トーナメント

2006年創設
三菱庭球同好会

1 準 決
回 決 勝
戦 勝 勝



女子ダブルス

ブロック別リーグ戦

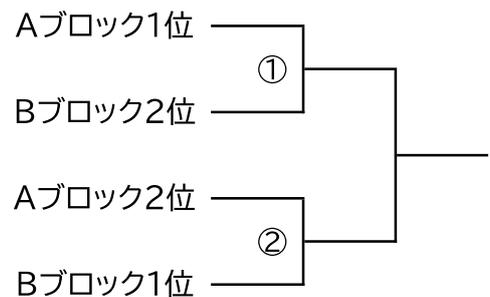
Aブロック	1	米原・清水	(関東・生命)
	2	吉場・香山	(関西・電機)
	3	玉谷・濱家	(関東・銀行)
	4	藤田・細江	(中京・生命)
Bブロック	1	金山・吉田	(関東・生命)
	2	前田・河辺	(関西・ケミカル、電機)
	3	梶原・後藤	(関東・自動車、銀行)
	4	杖村・三浦	(関東・AGC、生命)



決勝トーナメント

1972年創設
岩崎操子氏寄贈
(彦彌太氏令室)

準 決
勝 勝



140オダブルス



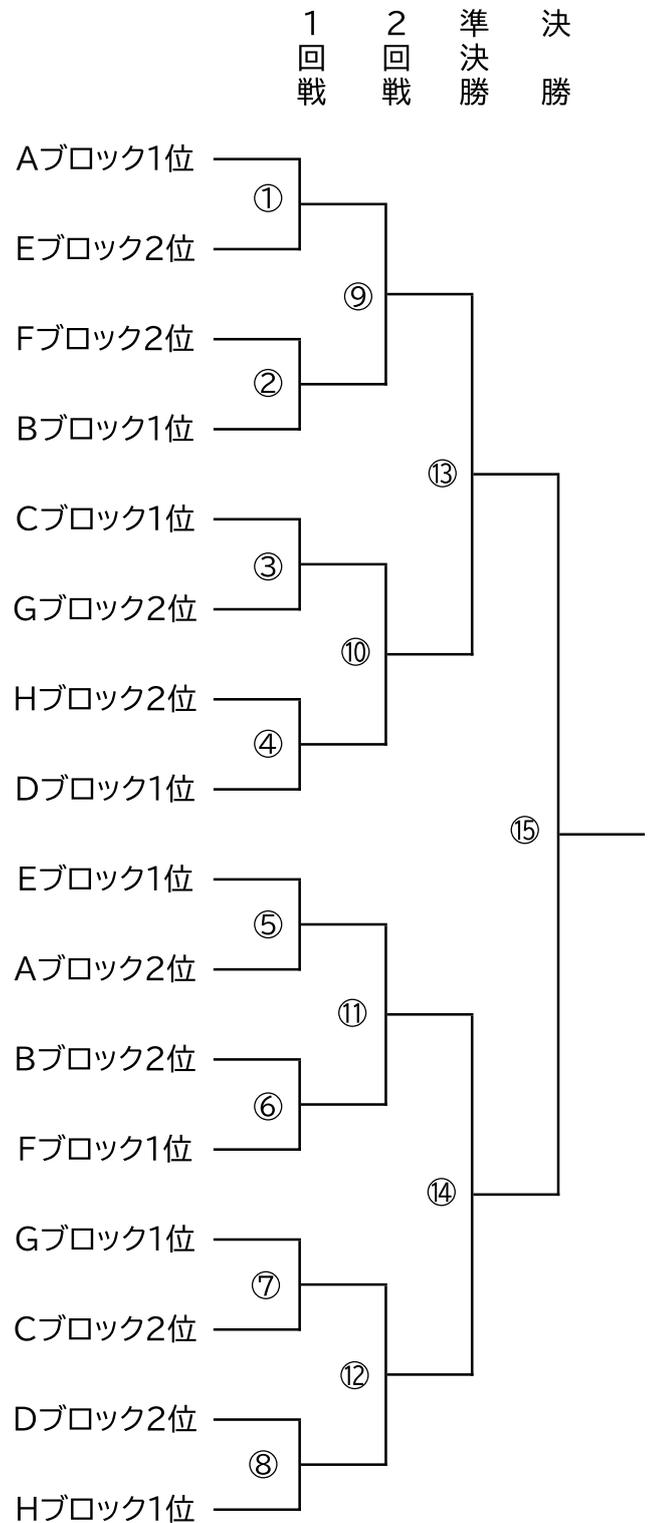
1983年創設
岩崎寛彌氏寄贈
(彦彌太氏令息)

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	鈴木・西岡	(生命・海上)
	2	高橋・依田	(重工)
	3	有馬・保坂(*)	(商事)
	4	平山・越村	(マテリアル)
Bブロック	1	佐藤・東城	(海上)
	2	小宮・安川	(商事)
	3	米田・渋谷	(マテリアル)
	4	神森・吉田	(AGC・ふそう)
Cブロック	1	君塚・海老名	(海上)
	2	田中・加藤	(重工・電機)
	3	木村・渡邊	(商事)
	4	山本・笠原	(銀行)
Dブロック	1	大塩・大塩	(樹脂・銀行)
	2	淀川・比原	(重工)
	3	藤本・小林	(商事)
	4	種田・田辺	(ENEOS)
Eブロック	1	牧村・田畑	(重工)
	2	志賀・勇内	(電機)
	3	毎野・岡本	(商事)
	4	草場・羽倉 (銀行)	
Fブロック	1	二木・田中	(自動車)
	1	桑田・箱崎	(信託)
	2	今西・武田	(商事)
	3	服部・早乙女 (重王)	
Gブロック	4	野田・新子	(商事)
	1	唐澤・宮村(*)	(商事)
	2	茂木・横尾	(銀行)
	3	一政・沓掛	(重工・ふそう)
Hブロック	4	竹下・松浦	(ケミカル)
	1	武藤・佐々木	(重工)
	2	岩淵・田中	(マテリアル)
	3	太田・天目	(信託)
	4	西・花生	(商事)

※ (*)は女子

決勝トーナメント



120オダブルス



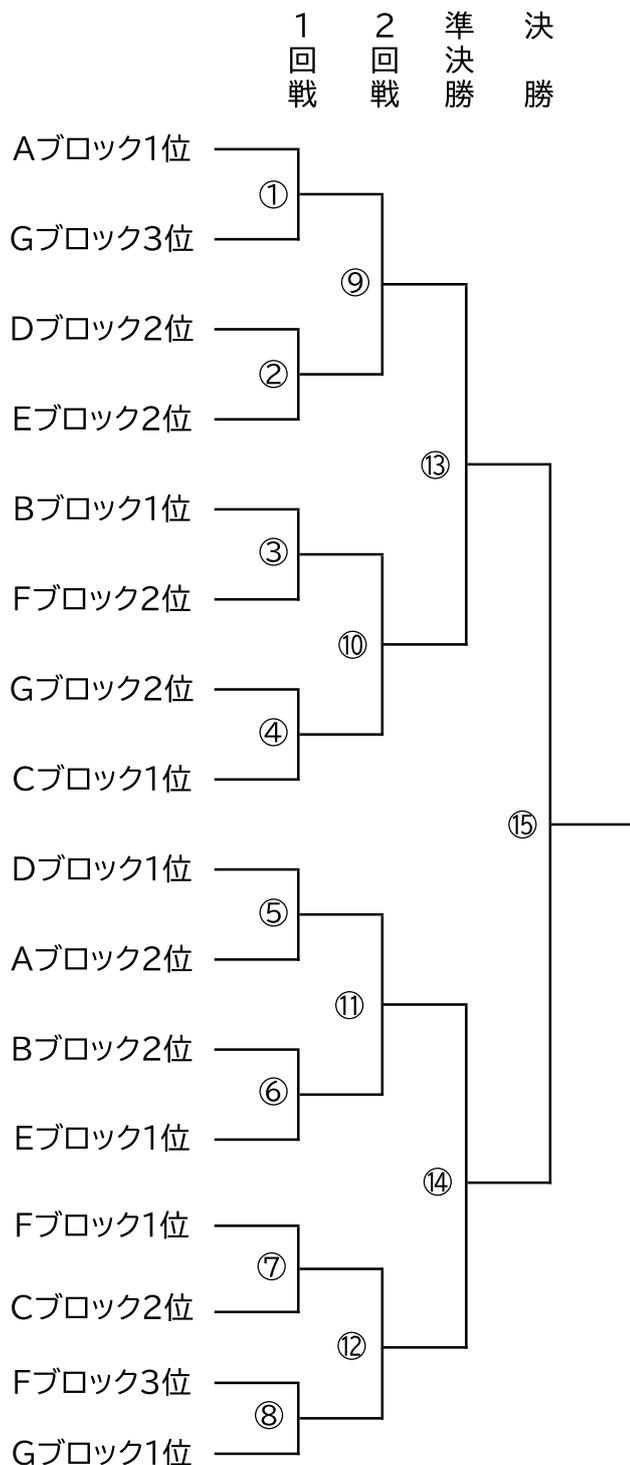
1952年創設
岩崎彦彌太氏寄贈

決勝トーナメント

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	柏木・西田	(商事)
	2	関・中村	(AGC)
	3	安徳・加藤	(自動車)
Bブロック	1	矢部・山崎	(商事)
	2	有村・高橋	(地所・生命)
	3	矢野・広瀬	(ケミカル)
Cブロック	1	山室・岡田	(海上)
	2	片山・山本	(マテリアル)
	3	平塚・田中	(重工・ふそう)
Dブロック	1	木村・鳩原	(電機)
	2	森本・小串	(重工)
	3	高橋・阿部	(海上)
Eブロック	1	福田・間野	(重工)
	2	黒井・小島	(商事)
	3	仲・中山	(電機)
Fブロック	1	乙川・三宅	(マテリアル)
	2	野村・野村(*)	(自動車・電機)
	3	木村(*)・柳原(*)	(商事)
	4	松本・西澤	(信託)
Gブロック	1	村松・酒井	(信託)
	2	生川・助川(*)	(ケミカル・電機)
	3	藤井・岡部(*)	(電機)
	4	松山・松山(*)	(銀行)

※(*)は女子



東西対抗試合

東 軍 西 軍
<男子ダブルス>

- | | | | | | | | |
|-----|---|----------|---|---|---|------------|---|
| 1. | { | 関水 (銀行) | } | - | { | 上本 (海上) | } |
| | | 井上 (銀行) | } | | | 池田 (海上) | } |
| 2. | { | 星村 (生命) | } | - | { | 伊藤 (ガス化) | } |
| | | 高山 (生命) | } | | | 高橋 (ガス化) | } |
| 3. | { | 柏木 (生命) | } | - | { | 西脇 (マテリアル) | } |
| | | 山田 (生命) | } | | | 中根 (マテリアル) | } |
| 4. | { | 南 (銀行) | } | - | { | 五嶋 (重工) | } |
| | | 塚本 (銀行) | } | | | 寺田 (重工) | } |
| 5. | { | 田元 (生命) | } | - | { | 宇田 (ケミカル) | } |
| | | 松下 (生命) | } | | | 藤村 (ケミカル) | } |
| 6. | { | 榎本 (銀行) | } | - | { | 松尾 (自動車) | } |
| | | 二見 (銀行) | } | | | 井本 (自動車) | } |
| 7. | { | 松本 (地所) | } | - | { | 市川 (ガス化) | } |
| | | 熊野 (地所) | } | | | 大池 (ガス化) | } |
| 8. | { | 田村 (ふそう) | } | - | { | 橋本 (重工) | } |
| | | 吉川 (ふそう) | } | | | 池野 (重工) | } |
| 9. | { | 峯木 (自動車) | } | - | { | 野島 (重工) | } |
| | | 日高 (自動車) | } | | | 川畑 (重工) | } |
| 10. | { | 鈴木 (化工機) | } | - | { | 八重樫 (自動車) | } |
| | | 平野 (化工機) | } | | | 足立 (自動車) | } |



1952年創設
 三菱庭球同好会

<女子ダブルス>

- | | | | | | | | |
|----|---|---------|---|---|---|----------|---|
| 1. | { | 藤井 (生命) | } | - | { | 市川 (海上) | } |
| | | 田元 (生命) | } | | | 波多野 (海上) | } |
| 2. | { | 大石 (海上) | } | - | { | 金子 (生命) | } |
| | | 一木 (海上) | } | | | 中村 (生命) | } |
| 3. | { | 本郷 (生命) | } | - | { | 守屋 (重工) | } |
| | | 田中 (生命) | } | | | 福岡 (重工) | } |

<特別試合>

男子ダブルス

{ } - { }

女子ダブルス

{ } - { }

第1日(10月27日)コート時間割

生 命 コ ー ト							
集合	試合開始	4	5	6	7	8	9
9:45	10:00	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1-A2	A3-A4	B1-B2	B3-B4	C1-C2	C3-C4
10:25	10:45	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		D1-D2	D3-D4	E1-E2	E3-E4	F1-F2	G1-G2
11:05	11:25	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		G1-G2	G3-G4	H1-H2	H3-H4	A1-A3	A2-A4
	12:05	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		B1-B3	B2-B4	C1-C3	C2-C4	D1-D3	D2-D4
	12:45	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		E1-E3	E2-E4	F1-F2	F2-F4	G1-G3	G2-G4
	13:25	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		H1-H3	H2-H4	A1-A4	A2-A3	B1-B4	B2-B3
	14:05	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		C1-C4	C2-C3	D1-D4	D2-D3	E1-E4	E2-E3
	14:45	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		F1-F4	G1-G2	G1-G4	G2-G3	H1-H4	H2-H3

海 上 コ ー ト							
集合	試合開始	1	2	3	4	5	6
9:45	10:00	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G)					
		A1-A2	B1-B2	F1-F2	F3-F4	G1-G2	G3-G4
10:25	10:45	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G)					
		C1-C2	D1-D2	E1-E2	A1-A3	B1-B3	F1-F3
11:05	11:25	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G)					
		F2-F4	G1-G3	G2-G4	C1-C3	D1-D3	E1-E3
	12:05	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G)					
		A2-A3	B2-B3	F1-F4	F2-F3	G1-G4	G2-G3
	12:45	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G)					
		C2-C3	D2-D3	E2-E3	F1-F2	F3-F4	G1-G2

第2日(10月28日)コート時間割

		M U F G パーク										
コートNo.	時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	9:00	HI盃(1回戦)			140才(1回戦)							
	9:30				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	10:00	②	①		120才(1回戦)				120才(2回戦)			
	10:30				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	11:15	HI盃(1回戦)			女子シングルス(1回戦)				男子ダブルス(ブロックリーグ)			
									A1-A2	B1-B2	C1-C2	D1-D2
	12:00	④	③		①	②	③	④	男子ダブルス(ブロックリーグ)			
									E1-E2	F1-F2	G1-G2	H1-H2
	12:45				女子ダブルス(ブロックリーグ)				男子ダブルス(ブロックリーグ)			
					A1-A2	A3-A4	B1-B2	B3-B4	A1-A3	B1-B3	C1-C3	D1-D3
	13:30				女子ダブルス(ブロックリーグ)				男子ダブルス(ブロックリーグ)			
					A1-A3	A2-A4	B1-B3	B2-B4	E1-E3	F1-F3		H1-H3
	14:15				女子ダブルス(ブロックリーグ)				男子ダブルス(ブロックリーグ)			
					A1-A4	A2-A3	B1-B4	B2-B3	A2-A3	B2-B3	C2-C3	D2-D3
	15:00								男子ダブルス(ブロックリーグ)			
									E2-E3	F2-F3		H2-H3
	15:30	フリーコート ※希望者は、当日会場でサインアップ願います。										
	16:00											

第3日(10月29日)コート時間割

		M U F G パ ー ク										
時間	コートNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
8:30	開会式(必ずご参加ください)											
9:00	HI盃 (準決勝)	HI盃 (準決勝)		女子S (準決勝)	男子D (1回戦)	女子S (準決勝)	男子D (1回戦)			女子ダブルス (準決勝)		
9:30					①		②	③	④			
10:00	⑥	⑤		⑤	140才D (準決勝)	⑥	140才D (準決勝)	120才ダブルス (準決勝)		①	②	
10:30					⑬		⑭	⑬	⑭			
11:00				男子D (準決勝)		男子D (準決勝)	東西対抗 男子D					
11:30				⑤		⑥	1	2	3	5	6	
12:00							東西対抗 女子ダブルス			特別試合		
12:30							1	2		男子 ダブルス	女子 ダブルス	
13:00						140才 ダブルス (決勝)	東西対抗 男子ダブルス		120才 ダブルス (決勝)	東西対抗 男子D	東西対抗 女子D	
13:30							4	7		8	3	
14:00							懇親試合			東西対抗 男子D	東西対抗 男子D	
14:30	HI盃 (決勝)		女子 シングルス (決勝)		女子 ダブルス (決勝)					男子 ダブルス (決勝)	9	10
15:00							懇親試合			懇親試合		
15:30												
16:00	○注意事項											
16:30	1. 出場選手は必ず開会式にご参加ください。ただし、東西対抗出場選手等で当日移動の方は除きます。 2. 練習時間は試合進行上、HI盃および女子シングルスは5分以内、その他は3分以内といたしますので厳守ください。 3. 進行は本部横に掲示いたしますので、各自前広にご確認ください。 4. 大会役員の方は、11:30よりクラブハウス2階にて昼食会を行います。 HI盃および女子シングルス出場選手は選手紹介を行いますのでご参集ください。 5. 懇親試合をご希望の方は大会本部までお申し出ください。											
17:00												
17:30												
18:00	懇 親 会											
18:30	(於 吉祥寺エクセルホテル東急)											
19:00												

大会会場案内図(1) 《MUFG パーク》

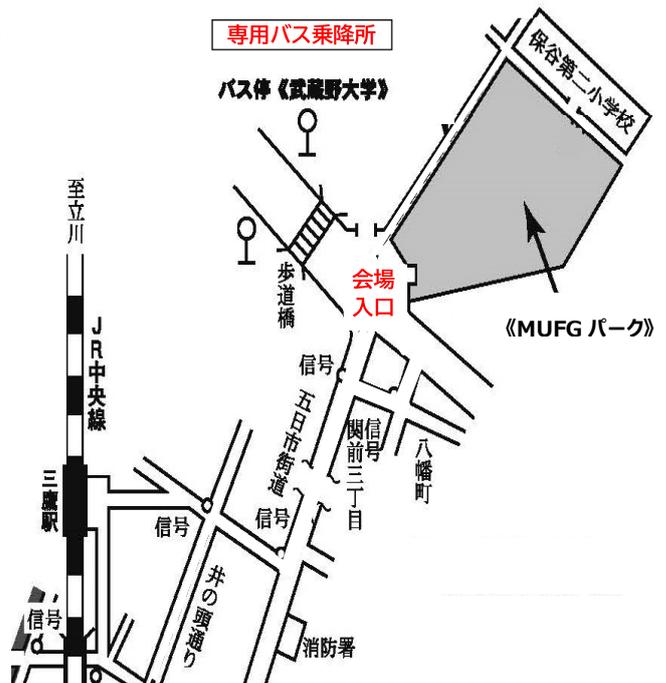
東京都西東京市柳沢4-4-40
TEL: 042-452-3125

●10/28(土) 会場へのアクセス

三鷹駅北口から関東バスをご利用ください。
3番バスのりばから「鷹 30, 33, 34」に乗車、
「武蔵野大学」で下車してください(約 20~25 分)。

●10/29(日) 会場へのアクセス

下表のとおり専用バス(各便とも大型1台)を運行
しますので、ご利用ください。



発車		到着	
7:40	三鷹駅	7:50	MUFGパーク
7:50	三鷹駅	8:00	MUFGパーク
8:00	三鷹駅	8:10	MUFGパーク
8:10	三鷹駅	8:20	MUFGパーク
15:50	MUFGパーク	16:15	吉祥寺エクセルホテル東急
16:00	MUFGパーク	16:25	吉祥寺エクセルホテル東急
16:40	MUFGパーク	17:05	吉祥寺エクセルホテル東急
16:50	MUFGパーク	17:15	吉祥寺エクセルホテル東急



【MUFG パーク 駐車場アクセス方法詳細】

- ・駐車場の使用は、各社役員、来賓、大会役員の車に限定させていただきます。
- ・運転手の方は、駐車券を本部へお持ちください。
(幹事にて精算処理を行います)
- ・パークからの帰路は、駐車場出口からの道路が一方通行のため、**右折しかできません**のでご注意ください。
- ・当局からの強い指導により周辺道路への違法駐車等は厳に慎んでください。



●選手の皆さんへお願い

- ・ MUFG パークでの大会時の配置は以下のとおりです。
- ・ **メイン(南)ゲートからご入場ください。**西・北ゲートは終日閉鎖されておりますのでご注意ください。
- ・ **10/28(土)はテニスコート・クラブハウス以外の施設を一般の方が利用します。**
一般の方の活動に支障をきたさないように、ご配慮とご協力をお願いします。
同日は待機エリアを利用できません。また、更衣室・シャワー、トイレ等は原則クラブハウスの設備をご利用ください。
- ・ 10/29(日)はパーク全体を貸し切りとしております。
- ・ 試合進行はコート時間割に従って行ないますが、変更する場合がありますのであらかじめオーダーオブプレーにてご確認ください。

近隣対策上、試合前の選手呼び出し(場内アナウンス)はいたしませんのでご注意ください。



大会会場案内図(2)

《明治安田生命グリーンランドテニスコート》

＜八王子駅から車で明治安田生命グリーンランドまでの行き方＞
所要時間：約20分



＜戸吹停留所から徒歩で明治安田生命グリーンランドまでの行き方＞
所要時間：約8分



◆名称:明治安田生命グリーンランド

◆住所:東京都八王子市戸吹町150(042-691-1751)

◆施設:テニスコート、クラブハウス(男女各シャワー室、更衣室)

◆交通

①車

八王子駅から約20分

※駐車場あり

②バス

JR八王子駅12番乗り場、京王八王子駅4番乗り場から西東京バス

・【ひ01】系統 戸吹行き、又は【ひ07】系統 秋川駅行き、

又は【ひ08】系統 戸吹スポーツ公園入口行き乗車(約30分)、戸吹停留所下車徒歩8分

JR五日市線秋川駅2番乗り場から西東京バス

・【ひ07】系統 京王八王子駅行き(約25分)戸吹停留所下車徒歩8分

③タクシー

JR五日市線秋川駅から10分程度

秋川交通:電話:042-558-7411

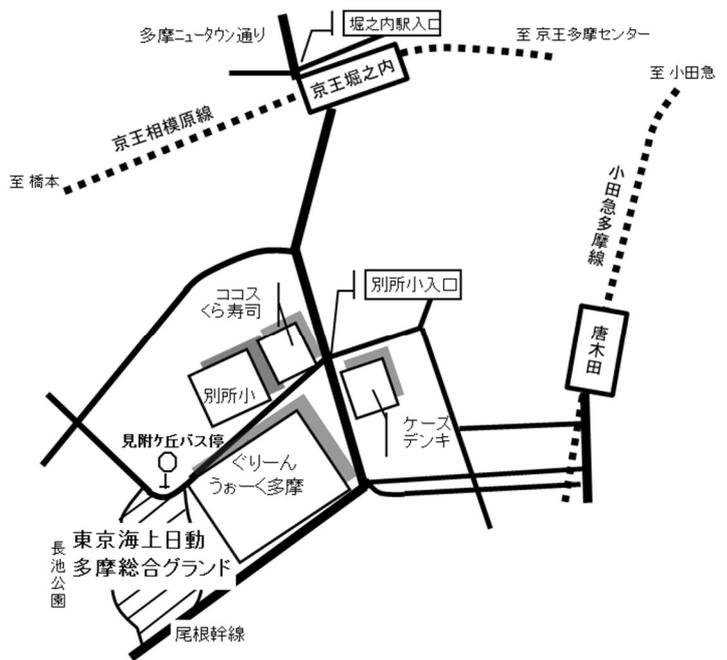
大会会場案内図(3)

《東京海上日動多摩総合グランド》

八王子市別所2-57
TEL 0426-77-8619

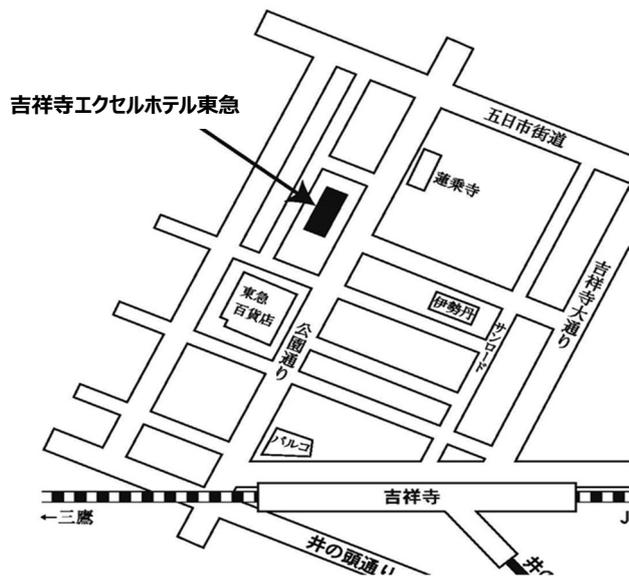
- ① 京王相模原線
「京王堀之内」駅よりバス
「見附橋循環」のりば④番)
にて「見附ヶ丘」下車
- ② 京王相模原線
「京王堀之内」駅
または小田急多摩線
「唐木田」駅より
タクシー利用

マイカーでご来場できます



懇親会 会場案内図

吉祥寺エクセルホテル東急
8F 宴会場「アンバサダールーム」



- ・地下駐車場は、大会役員、来賓のみ利用できます。
- ・1F玄関前は混雑しますので、懇親会閉会後は速やかに移動願います。

2022年度 第71回 優勝者

< >内はプレゼンター



HI盃 田形諒平選手(生命)
<岩崎俊吉様>



女子シングルス 足立真美選手(生命)
<大宮会長(三菱庭球同好会)>



男子ダブルス 浦上・井上ペア(海上)
<竹内会長(マテリアル)>



女子ダブルス 米原・清水ペア(生命)
<森社長(ピーエス三菱)>



140 オトーナメント 大塩・茂木ペア(銀行)
<永島社長(生命)>



120 オトーナメント 牧村・間野ペア(重工)
<荒谷副社長(生命)>

※2022年度大会では東西対抗試合は実施いたしませんでした。

HI 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表

I. 復活前

回数	年度	開催地	委員長	HI盃	関東関西戦	
					回数	勝者
	1916 大正5	神戸			1	雨天の為中止
	1917 大正6	東京			2	記録なし
	1918 大正7	神戸			3	米騒動の為中止
	1919 大正8	名古屋			4	記録なし
	1920 大正9	名古屋			5	記録なし
	1921 大正10	東京			6	関東
	1922 大正11	名古屋		10月カップ創設 軟式から硬式へ	7	記録なし
1	1923 大正12	東京	河手捨二 (商事取締役)	岩永侃爾(門司・鉱業)	8	関西 7-5
2	1924 大正13	神戸	山口泉吉 (重工神戸造船所長)	青木岩雄(東京・銀行)	9	関東 9-6
3	1925 大正14	名古屋	松本辰三郎 (内燃名古屋製作所長)	扇山正男(名古屋・内燃)	10	関東 9-4
4	1926 大正15	東京	荘田達弥 (造船研究所長)	岩永侃爾(東京・鉱業)	11	関東 12-3
5	1927 昭和2	神戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	青木岩雄(東京・銀行)	12	関東 10-5
6	1928 昭和3	東京	三好重道 (製鉄取締役)	神田道朝(関西・保険)	13	関東 8-7
7	1929 昭和4	神戸	山室宗文 (銀行常務取締役)	青木岩雄(関東・銀行)	14	関西 10-5
8	1930 昭和5	東京	荘田達弥 (造船研究所長)	牧野 元(関東・航空)	15	関東 8-6, 1分
9	1931 昭和6	神戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	牧野 元(関東・航空)	16	関西 12-2, 1分
10	1932 昭和7	東京	三好重道 (製鉄取締役)	志村彦七(中京・航空)	17	関西 8-7
11	1933 昭和8	神戸	田中金之助 (倉庫取締役)	後藤 長(中京・航空)	18	関西 12-3
12	1934 昭和9	名古屋	本間亀吉 (電機名古屋製作所長)	後藤 長(中京・重工)	19	関東 11-4
13	1935 昭和10	東京	佐藤梅太郎 (合資参与総務課長)	後藤 長(中京・重工) 決勝は5→3セットマッチへ	20	関東 10-5
14	1936 昭和11	神戸	玉井喬介 (重工社長)	石井小一郎(関東・地所)	21	関西 8-6, 1分
15	1937 昭和12			中止	22	
16	1938 昭和13	東京	間 四郎 (電機常務取締役)	志村彦七(中京・重工)	23	関西 8-7
17	1939 昭和14	名古屋	後藤直太 (重工取締役)	志村彦七(中京・重工)	24	雨天中止
18	1940 昭和15	東京	間 四郎 (電機常務取締役)	中野文照(関東・鋼材) <ダブルス> 熊谷一彌・関沢房豊	25	関西 9-6
19	1941 昭和16			中止	26	中止
20	1942 昭和17	東京	間 四郎 (電機常務取締役)	林 新緑(関西・電機) <ダブルス> 田村亮・扇山忠男	27	記録なし

II. 復活後

回数	年度	開催地	委員長	HI盃	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	東西対抗試合
1	1952 昭和27	東京	石黒俊夫 (本社精算人)	藤倉五郎 (金商)	100才→	岩崎彦彌太・ 山岸成一		関東 10-3, 3分
2	1953 昭和28	神戸	藤井深造 (新重工社長)	藤倉五郎 (金商)		住友・池上 (電機)		関東 13-6
3	1954 昭和29	名古屋	高杉普一 (電機社長)	藤倉五郎 (金商)		富田・河尻 (金属・金商)		関東 19-5
4	1955 昭和30	東京	石黒俊夫 (地所社長)	藤倉五郎 (金商)		西・神田 (商事・海上)		関西 18-12
5	1956 昭和31	大阪	古村誠一 (金属鋳業社長)	藤倉五郎 (金商)		西・服部 (商事・新重工)		関西 19-13, 1分
6	1957 昭和32	東京	高垣勝次郎 (商事社長)	藤倉五郎 (金商)		藤島・森野 (銀行・海上)		関東 21-17
7	1958 昭和33	大阪	伊藤保次郎 (鋳業社長)	寺岡健吾 (化成)	105才→	石井・高萩 (地所・鋳業)		関西 23-14
8	1959 昭和34	東京	佐藤 尚 (造船社長)	石黒 修 (電機)		雨天中止		雨天中止
9	1960 昭和35	東京	桜井俊記 (重工社長)	石黒 修 (電機)		鈴木・山岸 (金属・商事)		関西 21-17
10	1961 昭和36	東京	柴田周吉 (化成社長)	石黒 修 (電機)		石井・武井 (地所)		関東 24-21
11	1962 昭和37	大阪	浜川友十郎 (倉庫社長)	石黒 修 (電機)		樋口・古矢 (銀行)		関東 23-22
12	1963 昭和38	東京	宇佐美 洵 (銀行頭取)	石黒 修 (電機)	110才→	中山・山岸 (金属・商事)		関東 26-19
13	1964 昭和39	東京	藤岡信吾 (石油社長)	石黒 修 (電機)		大淵・塚田 (地所)		関東 29-18
14	1965 昭和40	東京	千頭暎臣 (信託社長)	藤井道雄 (電機)		山岸・柴田 (商事・化成)		関東 27-23
15	1966 昭和41	大阪	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		樋口・一法師 (銀行・商事)		関東 36-17
16	1967 昭和42	東京	河野文彦 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		浅田・塚田 (銀行)		関東 41-18
17	1968 昭和43	東京	野村義門 (重工顧問)	山岸 孝 (明生)		大藤・山岸(二) (以外・商事)		関東 36-22
18	1969 昭和44	東京	有吉義彌 (郵船社長)	藤井道雄 (電機)		岩倉・山岸(二) (郵船・商事)		関東 39-28
19	1970 昭和45	東京	牧田与一郎 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		堤・塚田 (銀行)		関東 33-24, 13
20	1971 昭和46	東京	田実 涉 (銀行会長)	大日方昭太 (海上)		岡本・三好 (金属)		関東 42-28
21	1972 昭和47	東京	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		河尻・藤倉 (金商)	島野・青井 (海上・重工)	関東 43-31
22	1973 昭和48	東京	中田乙一 (地所社長)	山岸 孝 (明生)		雨天中止	原・市井 (海上)	雨天中止
23	1974 昭和49	東京	古賀繁一 (重工会長)	宮川善文 (大日)		雨天中止	小畠・塚本 (電機)	雨天中止
24	1975 昭和50	東京	古賀繁一 (重工会長)	辻本 豊 (レイオン)		田中・笈 (重工)	島野・塚本 (海上・電機)	関東 41-35, 1分
25	1976 昭和51	東京	古賀繁一 (重工会長)	有沢三治 (油化)		雨天中止	島野・塚本 (海上・電機)	雨天中止
26	1977 昭和52	東京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		北岡・高橋 (電機)	針谷・中井 (重工)	関東 54-28
27	1978 昭和53	東京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)	115才→	関口・西尾 (重工)	三枝・堀毛 (電機)	関東 44-37, 1分
28	1979 昭和54	東京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		御供・林田 (重工・製鋼)	西浦・三枝 (電機)	関東 49-33

回数	年度	開催地	委員長	HI盃	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	東西対抗試合
29	1980 昭和55	東京	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		吉岡・佐久間 (キャタ・重工)	作山・植村 (化成)	関東 41-20, 21分

回数	年度	委員長	HI盃	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	男子 ダブルス	東西 対抗戦	
30	1981 昭和56	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		櫛原・古賀 (化成・樹脂)	作山・植村 (化成)		関東 49-33	
31	1982 昭和57	田部文一郎 (商事会長)	武田 彰 (商事)	130才↓	中野・高橋 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 40-37, 5分	
32	1983 昭和58	田部文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイオン)	安川・吉岡 (キャタ)	北岡・中野 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 33-27, 22	
33	1984 昭和59	田部文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイオン)	末延・関口 (重工)	妹尾・青木 (銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関東 47-34, 1分	
34	1985 昭和60	田部文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイオン)	小西・富取 (銀行)	原田・佐久間 (商事・重工)	島野・今井 (海上・重工)		関東 48-34	
35	1986 昭和61	田部文一郎 (商事会長)	沢 英樹 (化成)	関口・高田 (重工)	御供・青木 (重工・銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関西 46-38	
36	1987 昭和62	鈴木永二 (化成会長)	沢 英樹 (化成)	原田・川崎 (商事・石油)	高橋・鈴木 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 46-37	
37	1988 昭和63	鈴木永二 (化成会長)	昭和天皇御病気の為中止						
38	1989 平成元	鈴木永二 (化成会長)	岩原慎二 (化成)	川崎・笥 (石油・自工)	貴志・庄野 (化成)	芥川・善積 (化成)		関東 45-39	
39	1990 平成2	鈴木永二 (化成会長)	辻本 豊 (レイオン)	原田・上田 (商事)	豊福・金子 (化成・郵船)	芥川・善積 (化成)		関東 50-31, 3分	
40	1991 平成3	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	古賀・櫛原 (化成)	瀬口・須藤 (化成・重工)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 28-21, 35	
41	1992 平成4	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	坂尾・伊丹 (キリン)	瀬口・福井 (化成)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 49-29, 6分	
42	1993 平成5	飯田庸太郎 (重工会長)	辻本 豊 (レイオン)	山田・宮本 (アルミ)	青木・荒木 (銀行)	善積・溝口 (化成・海上)		関東 52-32	
43	1994 平成6	飯田庸太郎 (重工会長)	田村太郎 (商事)	川崎・上田 (石油・商事)	山口・高見 (レイオン)	前田・早川 (化学)		関東 38-28, 18	
44	1995 平成7	飯田庸太郎 (重工相談役)	杉本長太郎 (化学)	雨天中止	雨天中止	金子・坂田 (明生)		雨天中止	
45	1996 平成8	飯田庸太郎 (重工相談役)	渡辺 啓 (化学)	伊丹・好士 (キリン)	山守・田中 (化学)	金子・坂田 (明生)		関東 47-37	
46	1997 平成9	藤村正哉 (マテリアル会長)	長谷川 寛 (電機)	雨天中止	雨天中止 120才↓	渡辺・工藤 (明生)		雨天中止	
47	1998 平成10	藤村正哉 (マテリアル会長)	古村賢紀 (電機)	川崎・櫛原 (石油・化学)	小杉・大日方 (銀行)	渡辺・杉山 (明生)		関東 52-32	
48	1999 平成11	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	花岡・沼田 (電機)	浦中・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 49-34, 1分	
49	2000 平成12	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	平岡・土肥 (重工・電機)	初澤・池田 (電機)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 42-41, 1分	
50	2001 平成13	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	沼田・榊井 (電機)	岡崎・石山 (石油)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 47-27	
51	2002 平成14	藤村正哉 (マテリアル相談役)	塚原 識 (銀行)	宮田・須藤 (重工)	瀧口・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 41-31	
52	2003 平成15	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	宮田・竹部 (重工・キリン)	神田・小杉 (銀行)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 26-20	
53	2004 平成16	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	雨天中止	雨天中止	今城・吉井 (海上)		雨天中止	
54	2005 平成17	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	池田・片寄 (電機)	毎野・西 (商事)	安井・星 (生命)		関東 28-23	
55	2006 平成18	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (商事)	佐伯・津田 (SCM・重工)	出口・近藤 (重工)	市川・原 (海上)	江頭・塩谷 (生命)	関東 16-9	

回数	年度	委員長	HI盃	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	男子 ダブルス	東西 対抗戦
56	2007 平成19	岸 暁 (銀行相談役)	前田信二 (銀行)	瀧口・高見 (化学・レゾ)	藤井・吉田 (電機)	深田・清水 (銀行)	武井・若月 (銀行)	関西 19-6
57	2008 平成20	岸 暁 (銀行相談役)	中原健一郎 (商事)	若菜・茅本 (重工・化学)	鈴木・君塚 (海上)	安井・伊藤 (生命)	黒崎・鳥山 (商事)	関西 14-11
58	2009 平成21	井手明彦 (マテリアル社長)	藤田瑞飛 (生命)	出口・淀川 (重工)	瀧口・矢野 (化学)	古賀・加藤 (生命)	細江・佐藤 (生命・海上)	関東 13-12

回数	年度	委員長	HI盃	女子 シングルス	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	男子 ダブルス	東西 対抗戦
59	2010 平成22	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)		近藤・淀川 (重工)	小野・赤沼 (硝子)	伊藤・五十嵐 (生命)	渡辺・瀬野 (電機)	関西 13-12
60	2011 平成23	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)		高橋・金子 (硝子)	後藤・古屋 (電機)	古賀・松重 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関東 16-9
61	2012 平成24	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)		東・淀川 (重工)	伊藤・矢野 (化学)	五十嵐・鍋谷 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関西 13-12
62	2013 平成25	井手明彦 (マテリアル会長)	福田健司 (電機)	140才→	東・田中 (重工)	赤沼・本間 (硝子)	五十嵐・鍋谷 (生命)	廣田・横山 (電機)	関西 11-8
63	2014 平成26	井手明彦 (マテリアル会長)	田川翔太 (海上)	鍋谷昌栄 (生命)	田中・永田 (重工)	近藤・矢野 (化学)	奥間・関 (銀行)	神谷・星野 (キリン)	関西 11-8
64	2015 平成27	井手明彦 (マテリアル相談役)	古田陸人 (マテリアル)	木川里奈 (生命)	織田・藤井 (商事・電機)	堀田・多屋 (海上)	松田・泉水 (生命)	駒田・廣田 (電機)	関東 12-11
65	2016 平成28	井手明彦 (マテリアル相談役)	田川翔太 (海上)	松本千広 (生命)	江口・近藤 (化学)	本間・半田 (硝子)	松田・泉水 (生命)	上村・尾形 (生命)	関東 16-9
66	2017 平成29	大宮英明 (重工会長)	田川翔太 (海上)	松本千広 (生命)	雨天中止	雨天中止	雨天中止	高山・野田 (生命)	雨天中止
67	2018 平成30	大宮英明 (重工会長)	田川翔太 (海上)	田中文彩 (生命)	東・前田 (重工・ケミカル)	宮川・伊藤 (重工)	本郷・森 (生命)	高山・野田 (生命)	関東 13-10
68	2019 令和元	大宮英明 (重工相談役)	台風影響により中止						
69	2020 令和2	大宮英明 (重工相談役)	COVID-19影響により中止						
70	2021 令和3	大宮英明 (重工相談役)	COVID-19影響により中止						
71	2022 令和4	大宮英明 (重工相談役)	田形諒平 (生命)	足立真美 (生命)	大塩・茂木 (銀行)	牧村・間野 (重工)	米原・清水 (生命)	浦上・井上 (海上)	中止

注. 第30回大会以降の開催地はすべて東京

HI 盃選手権試合 100周年記念特集

三菱庭球の歩み（年表）



2023年10月

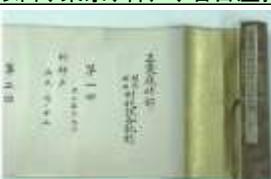
三菱庭球同好会

(出典)

- ・三菱庭球同好会ホームページ →
- ・日本テニス協会ホームページ
- ・三菱広報委員会会員会社年表



三菱庭球の歩み(年表)

年度	三菱の庭球	テニス界	三菱グループ	出来事
1870~ 明治3	1878 横浜・山手公園に外国人居留者専用テニスクラブ 1885 横山愛輔が米国でテニスを始める 1886 東京高師(筑波大)にテニス部 1895 岩崎彦彌太誕生 1897 三田士ゴムが国産軟式ボールを製造 1900 東京ローンテニスクラブ(日本人がプレー可能)		1871九十九商会 1872三川商会 1873三菱商会、吉岡鉱山 1875郵便汽船三菱商会 1879東京海上保険 1884長崎造船所 1885岩崎彌之助社長就任 1893岩崎久彌社長就任 1894三菱合資会社 1895同銀行部 1899合資営業部 1907麒麟麦酒、旭硝子 日本電線	廃藩置県 新橋-横浜鉄道開通 太陽暦、征韓論政変 樺太・千島交換条約 沖縄県 伊藤博文総理大臣
1911 明治44	三菱庭球部誕生 現在の丸の内パークビル敷地のコート		合資が造船・銀行等7部制	韓国併合 日米通商航海条約
1912 大正1			成蹊実務学校	タイタニック号遭難
1913 大正2		慶應大学が硬式を採用		
1914 大正3	三菱倶楽部に庭球部が統合			第一次世界大戦
1915 大正4	染井コート1面新設			
1916 大正5	第一回関東関西戦(神戸、雨天中止) 以降、東京、神戸、名古屋持回り開催、染井コート1面増設		岩崎小弥太社長就任	アインシュタイン 一般相対性理論
1917 大正6			日本光学工業(ニコン) 三菱造船、三菱製紙	ロシア革命
1918 大正7	米騒動の為中止		江戸川バリウム工業所 (ガス化学) 三菱倉庫、三菱商事 三菱鉱業 三菱銀行	シベリア出兵
1919 大正8	熊谷一彌(三菱合資)が全米3位 全米2位のチルデンを破る			チャップリン映画会社
1920 大正9	三菱本社庭球部で硬式を採用 関東関西戦は軟式(1922年から硬式へ移行) 熊谷一彌(三菱合資)がアントワープ五輪で単複銀メダル (複は柏尾誠一郎(三井物産)) 清水善造(三井物産)が全英テニス選手権オール カマーズ制決勝(現在の準決勝)に進出		三菱内燃機製造	ベルサイユ条約
1921 大正10	熊谷一彌(三菱合資)デ杯出場(21、23~26)、決勝進出 清水善造、柏尾誠一郎(三井物産)と		三菱電機	
1922 大正11	岩崎彦彌太がロンドン留学、銀製カップを調達し寄贈 10月HIロンドンカップ創設、硬式採用、三菱庭球同好会 日本庭球協会創立(初代会長は朝吹常吉、 デ杯の興行資金2万円を活用) 第一回全日本選手権(優勝は福田雅之助)			ワシントン会議 海軍軍縮条約 20億人、日本58百万人
1923 大正12	第一回HIロンドンカップ戦(7/29、30、染井コート) 優勝は岩永侃爾(門司・鉱業)、決勝は5セット。38人参加		丸の内ビル	関東大震災(9/1) Walt Disney Company
1924 大正13	リチャード・原田模範試合(龍岡町岩崎邸コート) 全日本選手権女子開始(黒井梯子が優勝)		東洋文庫 清澄庭園を東京都へ 北洋商会(三菱食品)	センバツ野球大会
1925 大正14	福田雅之助がイースタングリップを紹介			普通選挙法
1926 大正15	岩崎彦彌太が帰国、三菱合資に入社、以降HI盃を毎年観戦 全日本選手権出場(岩崎彦彌太・青木岩雄組)			
1927 昭和2	4月4日 彦彌太、操子結婚。有志がご成婚記念カップを贈呈		三菱信託	リンドパーク大西洋横断
1928 昭和3			三菱航空機	織田幹雄が3段飛びで 日本人初の金メダル
1929 昭和4			鉛粉塗料(大日本塗料)	世界恐慌
1930 昭和5	 岩崎寛彌(彦彌太、長男)誕生			
1931 昭和6	電5日刊(第182号)10月、新製杯(旧コト) 佐藤次郎が全仏ベスト4、全英8		三菱石油	満州事変
1932 昭和7			三菱経済研究所	5.15事件
1933 昭和8	佐藤次郎がウィンブルドンSF、複F(布井良助)進出			日本、国際連盟脱退

年度	三菱の庭球	テニス界	三菱グループ	出来事
1934 昭和9	山岸二郎(商事)デ杯出場(34, 35, 37, 38) 岩崎彦彌太が三菱本社副社長 <i>三木龍喜がウィンブルドンの ミックスダブルス優勝(ドロシー・ローランド)</i>		三菱商事三綱領 フェアプレイ(処事光明)は HI盃の大会精神 彦彌太副社長、三菱重工業	忠犬ハチ公銅像
1935 昭和10	HI盃の決勝は、5セットから3セットへ		化工機製作(三菱化工機) 三宝伸銅工業(三菱伸銅)	芥川賞、直木賞
1936 昭和11				2.26事件
1937 昭和12	支那事変のため中止 中野文照(電機)デ杯出場(37, 38, 51, 52)		三菱地所 三菱社に改称	日中戦争
1938 昭和13			六義園を東京都へ	国家総動員法
1939 昭和14		デ杯参加中止		第2次世界大戦
1940 昭和15			静嘉堂文庫を一般公開 三菱養和会	
1941 昭和16		主要競技中止		真珠湾攻撃
1942 昭和17	HI盃は通算20回、東西対抗は27回で幕を閉じる 20回大会優勝は林新緑(関西・電機) <i>日本庭球協会が大日本体育会「庭球部会」となる</i>		三菱製鋼	関門海底トンネル
1943 昭和18	戦時下で大会中止		三菱本社に改称	学徒出陣
1944 昭和19	金属回収令により関西関東戦の銀製カップを供出 HIカップは電機林氏が奇跡的に保管、復活大会前日に発見		三菱化成工業	レイテ沖海戦 本土空襲
1945 昭和20	岩崎彦彌太が三菱本社副社長辞任 <i>日本庭球協会復活</i>		三菱本社が自主解散を決定 岩崎小弥太永眠	広島・長崎原爆、終戦 GHQ財閥解体指令
1946 昭和21	染井コート復活、戦後第一回庭球懇親会(39名)			日本国憲法公布
1947 昭和22	石井小一郎(地所)が今生天皇(皇太子当時)のテニスコーチ <i>全日本選手権に天皇杯下賜</i>		商事解散	6・3制義務教育
1948 昭和23			千代田銀行と改称	
1949 昭和24			ふそう自動車販売	\$=360円単一レート 中華人民共和国
1950 昭和25			三菱重工3分割 三菱の商号、標準使用禁止	朝鮮戦争
1951 昭和26	岩崎彦彌太の公職追放解除、HI盃発会式 千代田銀行コート5面に、藤倉五郎(金商)デ杯出場(51)			サンフランシスコ平和条約
1952 昭和27	復活第一回HI盃(9/21(日)、千代田銀行コート) 優勝は藤倉五郎(金商)、以降6連覇。100人参加 100オトーナメント(彦彌太寄贈)、優勝は岩崎・山岸組(商事) 東西対抗は関東勝利、参加者は総勢約100人 <i>加茂幸子が全米出場</i>		三菱の商号復帰	水爆実験 GHQ廃止
1953 昭和28				朝鮮休戦協定
1954 昭和29	東西対抗優勝旗(同好会より)		<small>HI盃発会式 昭和26年12月 撮影</small>	力道山プロレスブーム
1955 昭和30	第1回全三井・全三菱テニス大会、三菱9-7勝利 <i>宮城淳・加茂公成組が全米選手権優勝</i>		岩崎久彌永眠	
1956 昭和31			三菱油化	国際連盟加盟
1957 昭和32				ソ連初の人工衛星
1958 昭和33	100オ→105オトーナメントに 石黒修(電機)デ杯出場(58, 60~66)		三菱原子力工業	東京タワー
1959 昭和34		<i>皇太子(今上天皇)のご成婚奉祝テニス大会</i>		
1960 昭和35			新菱建設(ピーエス建設)	
1961 昭和36	復活10周年記念大会、大会精神のHorizontal Integration 記念誌発行、半那毅男(電機)デ杯出場(61)			ベルリンに壁
1962 昭和37	女子ダブルス創設、優勝は牧・花田組(化成) 藤井道雄(電機)デ杯出場(62~65)		三菱プレシジョン、三菱樹脂 三菱レイノルスアルミニウム	キューバ危機

年度	三菱の庭球	テニス界	三菱グループ	出来事	
1963 昭和38			キャタピラー三菱	ケネディ大統領暗殺	
1964 昭和39		HI盃、石黒修(電機)6連覇 フェデレーション杯に初参加	3重工合併	東京オリンピック 東海道新幹線	
1965 昭和40			マンスリー三菱	ベトナム戦争 日韓基本条約	
1966 昭和41		岩崎寛彌、美智子結婚		中国文化大革命	
1967 昭和42	岩崎彦彌太永眠(9月8日、72歳) 復活16回岩崎彦彌太様追悼大会 初代同好会長 野村義門(銀行、重工)			EC、ASEAN	
1968 昭和43			三菱財団	OAPEC 小笠原諸島本土復帰	
1969 昭和44	第2代会長 中村基孝(商事) 沢松和子が全仏、ウィンブルドンジュニアで優勝		三菱自動車、三菱総研 三菱創業百年記念式典	アポロ11号月面着陸 東名高速開通	
1970 昭和45				日本万国博覧会	
1971 昭和46	第3代会長 牧田与一郎(重工)	石黒修がプロ転向		ニクソンショック	
1972 昭和47	第4代会長 古賀繁一(重工) 女子ダブルス盃(岩崎操子寄贈) 優勝は島野・青井組(海上・重工) 第一回ジャパンオープン			沖縄復帰 札幌オリンピック	
1973 昭和48				第一次オイルショック	
1974 昭和49	全三菱・中国文歓庭球大会		三菱重工爆破事件	田中角栄首相退陣	
1975 昭和50	三菱庭球同好会規約改定(同好会長が大会委員長となり 同好会による大会運営を開始) 沢松和子がウィンブルドン複優勝(アン・キヨムラ)		ローソン1号店	ベトナム戦争終結 第一回サミット(仏)	
1976 昭和51				ロッキード事件	
1977 昭和52					
1978 昭和53	105オ→115オトーナメントに			日中平和友好条約 成田空港開港	
1979 昭和54	HI盃、藤井道雄(電機)最多7回優勝			スリーマイル原発事故 アフガン戦争	
1980 昭和55		日本テニス協会に改称		イラン・イラク戦争	
1981 昭和56	復活30周年記念大会 記念誌発行			スペースシャトル 米でエイズ発見	
1982 昭和57	第5代会長 田部文一郎(商事) 女子ダブルス、島野・今井組(海上・重工)が6連覇			東北、上越新幹線	
1983 昭和58	130オトーナメント創設(岩崎寛彌寄贈) 優勝は安川・吉岡組(キャタピラー) 有明の森完成				
1984 昭和59			記念品のループタイ	日航ジャンボ機墜落 男女雇用均等法	
1985 昭和60				チェルノブイリ原発事故	
1986 昭和61	第一回日本リーグ男子に化学、商事、重工が出場				
1987 昭和62	第6代会長 鈴木永二(化成)	有明コロシアム完成		JR発足 ブラックマンデー	
1988 昭和63	昭和天皇ご病気のため中止		ニコン	瀬戸内大橋開通 青函トンネル	
1989 平成1		田園コロシアム解体		中国天安門事件 ベルリンの壁崩壊	
1990 平成2			三菱マテリアル	東西ドイツ統一	
1991 平成3		第7代会長 飯田庸太郎 (重工)			湾岸戦争、ソ連崩壊
1992 平成4		銀行コート			
1993 平成5	HI盃、辻本豊(レイオン)通算6回優勝、23回最多出場			徳仁殿下、小和田 雅子様ご成婚	
1994 平成6			三菱化学		
1995 平成7		松岡修三がウィンブルドンベスト8		阪神・淡路大震災 地下鉄サリン事件	
1996 平成8		伊達公子がウィンブルドンベスト4		野茂英雄MLB新人賞 (1995)	

年度	三菱の庭球	テニス界	三菱グループ	出来事
1997 平成9	第8代会長 藤村正哉(マテリアル)			香港が中国に返還
1998 平成10	115オ→120オトーナメント	JTAが秋分の日をテニスの日と定める		長野オリンピック
1999 平成11		杉山愛が全米ミックス優勝(ブパシ)		€ユーロ
2000 平成12				
2001 平成13	復活50周年記念大会 記念誌発行			9.11米国同時多発テロ
2002 平成14				小泉首相北朝鮮訪問 日韓ワールドカップ
2003 平成15		復活50周年記念大会 開会式 進行コート		イラク戦争
2004 平成16	第9代会長 岸暁(銀行) 岩崎操子永眠	杉山愛が全仏、ウィンブルドン複優勝(クライシュテルス)	東京海上日動火災保険 明治安田生命保険	九州新幹線
2005 平成17	全三井・全三菱テニス大会50年誌('06)		三菱UFJ信託銀行	京都議定書
2006 平成18	男子ダブルス盃創設(同好会より)、優勝は江頭・塩屋組(生命)	国枝慎吾が車いすテニスで世界1位		日本郵政
2007 平成19		国枝慎吾が年間グランドスラム達成		台湾新幹線
2008 平成20	岩崎寛彌(彦彌太、長男)永眠	楽天ジャパンオープン		リーマンショック 日本人ロピーク(128M)
2009 平成21	第10代会長 井手明彦(マテリアル)		三菱第一号館を復元	鳩山内閣(連立)
2010 平成22	130オ→140オトーナメント		三菱UFJ証券ホールディングス	「はやぶさ」帰還 中国GDP世界2位
2011 平成23	復活60周年記念大会、「三菱庭球の歩み」ビデオ制作 畔柳信雄(銀行)が第12代日本テニス協会会長			東日本大震災
2012 平成24		錦織圭がジャパンオープンで日本男子初優勝		東京スカイツリー 安部第2次内閣
2013 平成25				アベノミクス 世界人口70億人 消費税8%
2014 平成26	女子シングルス盃創設(岩崎美智子寄贈) 優勝は鍋谷昌栄(生命) 三菱電機が日本リーグ男子優勝	錦織圭が全米準優勝		
2015 平成27				マイナンバー制度
2016 平成28	全日本テニス選手権の冠に三菱グループ(~2020年) 錦織圭がリオデジャネイロ五輪で銅メダル			英、EU離脱
2017 平成29	第11代会長 大宮英明(重工) 三菱電機が日本リーグ男子優勝			
2018 平成30	三菱庭球同好会ホームページ開設 三菱電機が日本リーグ男子優勝	大坂なおみが全米優勝	三菱UFJ銀行	熊谷で最高41.1℃
2019 令和1		大坂なおみが全豪優勝		
2020 令和1	コロナ影響のため大会中止	大坂なおみが全米優勝	三菱創業150周年記念式典	新型コロナウイルス
2021 令和3	復活70回大会(コロナ影響のため中止) 大坂なおみが全豪優勝、国枝慎吾が金メダル			東京オリンピック・ パラリンピック
2022 令和4	無観客試合で大会再開(東西対抗は中止)、WEB試合中継 岩崎美智子(寛彌、令室)永眠	日本テニス協会100周年	三菱ケミカルグループ	大谷翔平 MLBで MVP(2021)二刀流
		HI盃優勝 田形諒平 (生命)		女子S優勝 足立真美 (生命)
2023 令和5	HI盃選手権試合100周年@MUFGパーク海上、生命コート	国枝慎吾に国民栄誉賞		関東大震災から100年 藤井聡太将棋8冠